

# 大和屋 設計・施工マニュアル

## －木製玄関ドア－

設計・施工の前に必ずお読みください

## 設計のご注意

- 下記の場所への設置は、極端な反り・狂いなど不具合の原因となりますのでおやめください。
  - ・直射日光が当たる場所
  - ・直接雨がかりがある場所
- その他お気づきの点やご不明点等ございましたら必ず設計前にご相談ください。

## 施工の前に

- 直射日光や雨の当たる場所、湿度が高い場所での保管は避けてください。
- 立て掛けての保管は反りや曲がりの原因となります。必ず平置きにして保管してください。
- 本商品は完成品です。運搬、荷卸し、施工の際にはキズや打痕、汚れ等には十分注意してください。
- 取扱いの際に手が汚れていると手跡がついて消えにくくなる場合がありますのでご注意ください。
- 扉・枠ともに重量がありますので、取り扱い・ケガに十分注意して下さい。扉の吊り込み・取り外しは必ず2名以上でおこなってください。
- ドアは乾燥度が高いため、枠を取り付ける構造材は出来る限り乾燥材、または集成材を使用することを推奨します。
- 建築完了までダンボール等で本体および枠への養生を推奨します。養生の際には本体および枠に直接粘着テープを貼らないでください。(粘着剤が残る可能性があります。)
- 品質には万全を期しておりますが、お気づきの点や不良品がございましたら、施工前に必ずご相談ください。施工後の交換にはご対応できません。

## 用意するもの

- クサビ

## 施工の手順

### ●調整ビスの使い方

調整ビスは取り付けおよび取り付け後の枠の微調整が可能な特殊なビスです。付属の専用ビットを用いて施工します。調整ビットには A サイドと B サイドがあり、下記のように使い分けます。

調整ビス



専用ビット



### ・枠を取り付けるとき

調整ビット A サイドを使用します。電動ドライバーのドリルチャックに調整ビットをセットし、枠を取り付けます。

調整ビット A サイド



### ・枠を調整するとき

調整ビット B サイドを使用します。電動ドライバーのドリルチャックに調整ビットをセットします。枠を躯体側に向かって調整したい場合は正転、逆に躯体側から枠を離したい場合は逆転で調整してください。

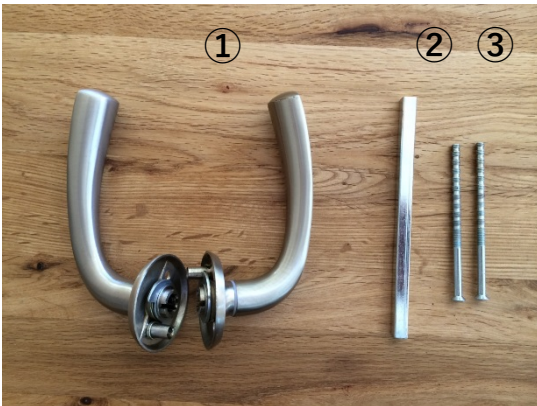
調整ビット B サイド



## ●ハンドル・シリンダーセットの確認

## 【ハンドルセット】

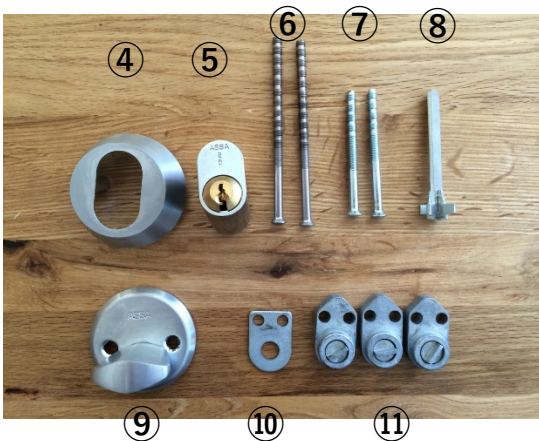
- ① ハンドル x 1    ② 芯棒 x 1    ③ ハンドル用ビス x 2



## 【シリンダーセット】

- ④ カバー x 1    ⑤ シリンダー x 1    ⑥ カバー用ビス x 2    ⑦ シリンダー用ビス x 2    ⑧ 芯棒 x 1  
 ⑨ サムターン x 1    ⑩ プレート x 1  
 ⑪ アタッチメント (サーフェスレス: 3個 C85/87: 2個 その他: 1個)

※ダブルロックの場合上記が2セットです。



## ●サーフェスレスの扉表面施工

※サーフェスレス以外の場合は次項「躯体への取付施工の手順」をご覧ください。

- ・HDF 表面に防水機能はございません。カバーをはずす際は水に濡れないようにご注意ください。
- ・金物表に従い、同梱の金物がすべてそろっているかご確認ください。
- ・表面サイディングは厚み 20mm 以下のもの且つ表面材の総重量が 20 k g 以下になるようにしてください。

※表面材が 20mm 厚の場合の施工方法です。

20mm 厚より薄い場合は、ビスの長さをその分短くして対応してください。

例) 表面材 18mm 厚の場合、ハンドルセット②芯棒: L=118mm にカット

・表面材を取り付ける際、接着剤は絶対に使用しないでください。扉の反りの原因となります。

- ① カバーを取り、ステープルを全て取り除いたことを確認してください。
- ② ドアの素地面に無地の防水シートを貼ります。(推奨品：ソリテックス・フロンタ・クアトロ・コネクト) 防水シートはHDF表面からはみ出さないようにカットし、端をステープルで固定します。
- ③ 表面にサイディングを貼ります。ドアの素地面からはみ出さないようにカットし、長さ 40mm 程度のビスで固定します。ビスはステンレス製、または真鍮製のものを使用してください。



- ④ ドア上端に水切りを取り付けます。表面のサイディングに合わせ、現場にて作成してください。(右写真参照)



- ⑤ 丁番の『逃げ』をつくる為に、側面にしゃくりをいれます。丁番の上端から 140mm の所まで、深さ 7mm 以上しゃくります。



- ⑥ ハンドル、シリンダー固定用のビスを下記の通りカットします。

- ・ハンドルセット②芯棒：L=120mm
- ・ハンドルセット③ビス：L=90mm (カットなし)
- ・シリンダーセット⑥カバー用ビス：L=90mm (カットなし)
- ・シリンダーセット⑦シリンダービス：L=55mm

※表面材が薄い場合、その分だけ短くカットします。

以下「躯体への取付施工の手順」へお進みください。

●躯体への取付施工の手順

- ① ドア本体を枠からはずし、ステーブルをすべてはずしてください。
- ② 枠を取り付ける下地が水平であることを確認してください。
- ③ 枠を躯体に合わせ、クサビを挿入します。
  - ・縦枠クサビ：ビス穴を避けた位置に配置
  - ・下枠クサビ：縦枠の真下に配置※クサビは設置後に撤去するので、抜き出しやすいクサビをご使用ください。
- ④ 下げ振りおよび水平器を使って垂直・水平および傾きを確認してください。
- ⑤ 蝶番側の枠を固定します。※必ず吊り元側から固定してください。
  - ・垂直と傾きを確認します。
  - ・下枠および上枠と縦枠が直角になっていることを確認してください。
  - ・上部をビス穴からビスで固定します。
  - ・再度垂直・傾きを確認してから下部をビスで固定します。※クサビやパッキンを介して枠を固定してしまうと調整ビスでの調整ができなくなってしまうので絶対におやめください。
- ⑥ 戸先側の縦枠を⑤と同じ要領で固定します。
- ⑦ バカ棒で枠の対角を含めて高さ・幅の枠内の寸法が均等か確認してください。  
不均等の場合は「調整ビスの使い方」の手順で枠の調整をおこなってください。
- ⑧ 寸法の確認後、残りのビスで固定します。
- ⑨ クサビを全て撤去します。枠と躯体の間にパッキンなどが残っていないことを確認してください。
- ⑩ ドアを吊り込みます。扉は重量物のため、必ず2名以上でおこなってください。

⑪ ハンドルを取り付けます。

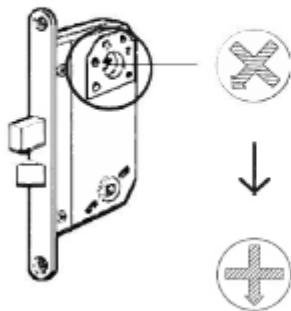
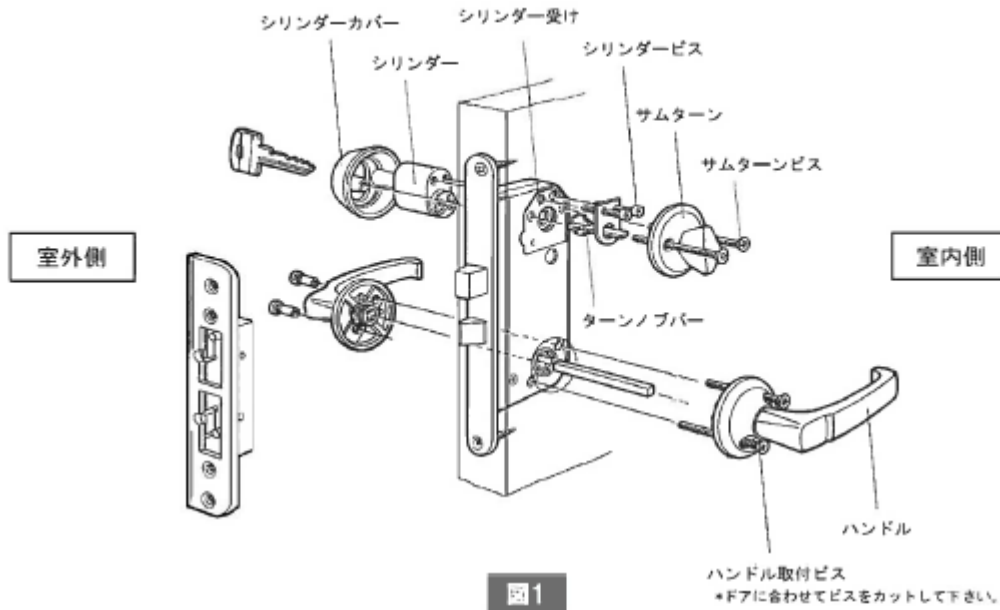


図2

- 1、バックセットのシリンダー受けを内側、外側共図2の様に下向きに回転させます。
- 2、シリンダー本体を室内側よりビスを締めて取り付けます。
- 3、シリンダーカバーを外部シリンダーにかぶせる。
- 4、サムターンを室内側よりシリンダーカバーと連結させます。

⑫ 確認をおこないます。

- ・ ドアを閉めてラッチおよびカギの掛かりを確認してください。
- ・ ドアを閉めた状態で枠とドアのチリが均等か確認してください。
- ・ ドアを何度か開閉し、ドアと枠の擦れがないか確認してください。

⑬ 確認後、ビス穴に専用キャップを嵌めます。

⑭ ドア枠と躯体の間にグラスウールやウレタンフォームなどの断熱材を充填し、コーキング・防水・気密テープを用いて防水・断熱・気密処理をおこなってください。

## 施工の後に

- ドアクローザーを設置する場合はドアクローザーの施工要領に従って取り付けをしてください。  
(推奨品：NEW STAR PS7003)
- 開閉不具合などの初期不良の可能性がある場合は、必ず外壁・内壁の施工前にご相談ください。外壁・内壁を仕上げてしまうと調整および交換ができないため、ご対応できませんのでご注意ください。
- 施工終了後、乾いた雑巾などで表面の木屑や埃をきれいに拭き取り、養生をしてください。
- 扉全体を養生シートで覆うようにしてください。一部が露出すると、日焼けして色むらになってしまいます。
- 養生テープは必ず小口面へ貼ってください。扉の表面および枠に直接貼ると表面にテープののりが残ったり、木材表面の繊維や塗装が剥がれるおそれがあります。
- 養生中もテープの剥がれが無いかを都度確認してください。隙間から小石やゴミ等が入ると、表面のキズやへこみの原因となります。
- 蝶番の調整方法および掃除・メンテナンス方法についてはユーザーマニュアルをご覧ください。



## 免責事項

下記が原因として発生した不具合は、免責とさせていただきます。

- 天然木の特徴によるもの
  - ・色違い
  - ・木目・節の違い
  - ・ヤニ
  - ・経年による変色
  - ・伸縮
  - ・軽微な反り・割れ
  - ・キクイムシなどの虫の発生
- 施工取付後に発見された故障及び損傷
- 性能に影響しない軽微な反り・狂い
- 雨染みや塗装の色褪せ等の経年変化またはご使用に伴う磨耗や汚れなどの外観上の現象
- ハンドルや蝶番など消耗品のメンテナンス・交換
- 衝撃によって生じるへこみ・キズ・破損・汚れ
- 下地の不陸など本製品以外が原因によるもの
- 設計・施工マニュアルに基づかない設計・施工で発生した不具合
- ユーザーマニュアルに基づかない掃除・メンテナンスで発生した不具合
- 不適切な保管状況が原因で発生した反り・キズ
- 不適切な養生により発生したキズ・色むらなどの不具合
- その他天災等によるもの

※施工後の返品やクレームにはご対応できません。

万が一商品に問題があった場合は、必ず施工前にご連絡ください。

## 大和屋 株式会社

住所：埼玉県熊谷市末広 2-118

電話：048-526-1001 FAX：048-526-1011 メール：call@yamatoya-kk.co.jp

ホームページ：<http://www.yamatoya-kk.co.jp/kenzai/>